

岡山県総合文化センターニュース

道しるべ

井原・木之子西郷の道しるべ



岡山県南西部の清流・小田川流域に開けた井原は、緑の山々に囲まれた自然豊かな小都市である。街の中を旧山陽道が東西に走っており、交通の要所として賑わっていた。その旧山陽道は、古代律令制下において、唯一「大路」とされた官道であった。近世では「国史大辞典」によると西ノ宮から、姫路、岡山、広島を貫き、下関まで42宿あり、重要な街道であったとされている。

井原市東部にある東江原町青木の三差路を南へ進み、小田川に架かる馬越橋を渡ると木之子町の西郷である。井笠鉄道木之子駅跡の広場からほど近い小学校の校門東側に高さ120cmほどの道しるべが立っている。年代は、はっきりわからないが、明治初期のものと思われる。

道路に向かって、北を正面にし、正面には「東矢掛」「北美山」と刻んである。正面の「東矢掛」は矢掛町、「美山」は美星町を指している。東側面には「西福山」「南金光」とあり、東側面で西への道筋を案内している。

つまり、道しるべの向きと、刻まれた方位とが一致していない。以前は「東矢掛」「北美山」の面が東を向いていたため「西福山」「南金光」の面は南を向き、東西南北とも正しい方角を指していた。



岡山県公立図書館ネットワーク

「情報」と「搬送」の連携で、図書館利用環境の充実を目指す

岡山県総合文化センター 片山 一生

1 はじめに

図書館は、国立国会図書館をはじめ、各都道府県立図書館、専門図書館、そして、住民に対しての最前線で活躍する市町村立図書館それぞれが密接に連携を保ちながら、利用者の多様なニーズに対応すべく努力をしてくれている。

県内においても、総合文化センターの巡回業務、公立図書館間の相互貸借の制度により、図書館利用環境の向上に努めてきた。

そして、インターネットの普及により、住民の情報収集方法が多様化する中で、図書館としても、岡山情報ハイウェイを活用して、より充実した協力体制を作るべく、平成11年度から、『岡山県公立図書館ネットワーク推進協議会』を組織し、「情報」と「搬送」の連携のあり方を検討してきている。

2 所蔵情報の公開

県内公立図書館を中心に、平成11年度から、県内図書館の蔵書が一覧検索できる「分散型総合目録検索システム」を立上げ、所蔵情報の共同公開を始めた。

当初、倉敷市立図書館と岡山県総合文化センターの6館（地区館を含む）のみの横断検索であったが、岡山市立図書館（地区館を含む5館）、津山市立図書館、早島町・里庄町・山陽町の各町立図書館の参加を得て、平成13年5月には、15館の図書館の蔵書が一覧検索できるようになった。

そして、13年度中には、鴨方町・和気町・旭町・奈義町の各町立図書館、哲西町公民館図書室、総社市立図書館の参加が見込まれており、今後も新館開館予定の勝央町、鏡野町の参加等、平成16年度新岡山県立図書館開館時を目標に、県内公立図書館の全館的情報ネットワークが実現に向けて着実に進行している。

3 図書館資料の搬送システム

そして、それに伴う搬送システムの構築に向けても、総合文化センターを拠点として各図書館へ向け、放射状の宅配システムを考案し、搬送頻度の向上と相互貸借の円滑化を図ろうと推進協議会下のワーキンググループ「ネットワーク研究会」で検討を進めている。

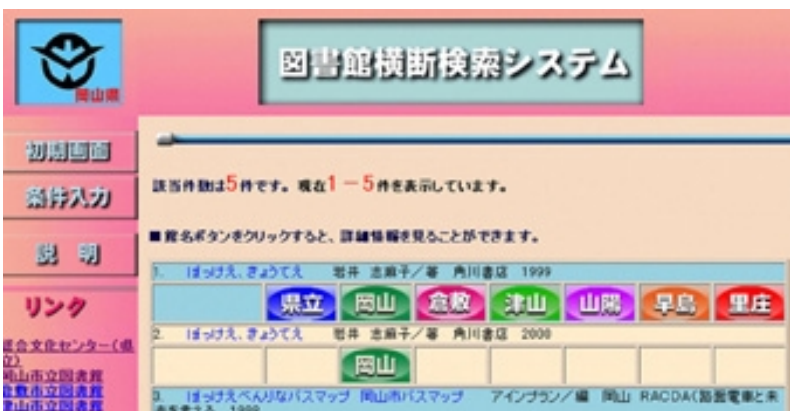
4 更なるネットワークの活用

図書館は、「知識の宝庫」であると同時に「情報」の窓口としての機能も果たさなければならない。特にIT化の進む今日では、そのニーズは非常に大きいものがあると考えられる。各図書館が、地域の情報発信基地として期待されているところである。

そのために、図書館間のオンラインネットワークの利点を生かし、各地の郷土情報の検索、オンラインによるレファレンスサービスの充実、画像・音声情報の共同配信等、今後の図書館サービスの発展の可能性は大きい。

このような機能を実現するためには、従来の資料相互補完という協力体制に加えて、情報データベースの共同作成という形での協力体制が必要になってくる。

つまり、ネットワークを活用した図書館による「コラボレーション（共同作業）」の検討・試行の時代がやっていると考える必要があるのではないだろうか。



おかやま人物往来 ⑥4

ど ひ つね ひら
土 肥 経 平

土肥経平は幼名吉五郎、後に典膳と改めた。
富山山人、宇治郷散人と号し、家の号には竹裡館、緑雲庵などがある。経平は土肥貞平の三男で、母は熊沢蕃山の孫にあたる。

この土肥家は鎌倉御家人土肥実平の子孫だと称している。土肥実平は1180年の源頼朝の挙兵に参加しており、頼朝の元で活躍した。土肥家から分かれた家として小早川家が有名である。毛利元就の子隆景が小早川家に養子に入るが、この小早川家も元来、土肥実平を祖としているので名前の最後は「平」の字を使っていた。

土肥経平は兄武平の後を継ぎ、禄高四千二百石番頭となった。享保14年(1729年)のことである。土肥家は岡山藩の中では上士の階層で代々番頭を世襲している。

経平は明和元年(1764年)4月に蟄居を命じられる。原因には諸説あるが、朝鮮使節の馳走役となった経平が牛窓に出張した際に部下の武田左太郎を同道した。この武田左太郎は岡山城番勤務がありながら出張先の牛窓から病氣と称して岡山に帰らず、牛窓以外のところで不謹慎な行動があったようである。

経平は、蟄居を命じられた際に子の延平に家督を譲ることになった。延平は番頭・番大膳の名跡を継いだ。兄が亡くなったため嫡子として土肥家に戻っている。代わりに弟が番家を相続している。延平は小仕置となり重職を担っていた。延平の室は三原城主浅野久忠の娘である。

経平は隠居後に文学、有職故実の研究に力をそそぐことになる。岡山大学池田文庫にある「土肥秘函」は経平の自筆本・写本を多数含んでいる。「土肥秘函」の中で経平の署名があるものはおよそ80点200余冊あり、その中で経平が写した写本には「平家物語」「万葉代匠記」「大唐六典」などがある。経平の著作としては「備前渡部数馬仇撃記」「備前軍記」「本朝細馬集」「鶺鴒の本弁疑」「川中島五戦記偽書考」など多数ある。

経平が交流した文人として湯浅常山がいる。常山の問いに経平が答えたものが「湯土問答」である。和歌については姉小路実紀、鳥丸光胤、日野資枝に教を受けている。

経平の娘は五条為俊と結婚しているが五条家は菅原氏高家の庶流で大納言、中納言が極官である。経平の娘は家老池田隼人の養女であった。格式上家老の養女であったことが五条家との婚姻には好都合であった。五条家との姻戚関係は経平に公家衆との交流と書籍収集の機会を与えたと考えられる。

参考文献として「土肥経平に関する研究」(蔵知矩著 昭和10年)「岡山県人名辞典」(花土文太郎著 山陽新報社 大正7年)などがある。



「備前軍記」(岡山県総合文化センター所蔵)

うち当館の参考図書 118

「日本史モノ事典」(平凡社編 平凡社)

「雪」「駒」「庭」「ぼっくり」……といえは何の名称でしょう？

日本の歴史上に存在した“モノ”の形と名前を明らかにする“見る事典”。収録の事物は古墳時代から昭和30年代の生活文化の分野が中心である。詳しい図やわかりやすい絵が豊富に使われており、簡単な説明文もついていて、大変読みやすい。

日本の伝統的家屋の構造、屋根、塀といったものから、楽器、調理器具、四十八手、日本髪の種類や名称まで載っている。昔家にあった見覚えがあるモノ、聞いたことはあるけど何のことかわからなかったモノ、物置にあるが使い方のわからないモノなどの“カタログ”として気軽に読める・見る事典である。

ところで、前述の問題の答えは「下駄」である。



新着郷土資料紹介

津山の金工中川家を巡る書状 附 正阿弥勝義 池上淳之編、[発行] 2001 65㊦

知られざる本田増次郎 講道館から世界に羽ばたいたもう一人の三四郎の物語 長谷川勝政著、発行 2001 157㊦

たましま 良寛の心を伝える港町 ふるさと再発見の旅 第25弾 玉島商工会議所発行 2001 27㊦

柵原散策 岡山文庫 211 片山薫著 日本文教出版発行 2001 157㊦

瀬戸内海的环境保全 平成12年度 資料集 瀬戸内海環境保全協会 [編] 環境省水環境部監修 瀬戸内海環境保全協会発行 2001 61, 56, 35㊦

和算と岡山県の算額 京山会主催講座より 額田昭子 [著] 発行 2001 30㊦

楽土 吉岡一写真集 吉岡一写真 写真企画発行 2001 96㊦

ずんべらぼうの観音さん 随筆 篠原国夫著 新風書房発行 2001 425㊦

白谷仁科先生の研究 赤枝春夫著 日生町立加古浦歴史文化館発行 2001 26㊦

思い出の記 酒井義英著、発行 2001 76㊦

岡山県内の施設情報ハンドブック 2001 企業の研修や会議に役立つ280施設 岡山県中小企業研修情報センター発行 2001 291㊦

千の教材と百の選択肢を 21世紀の教育を問う 森尚著 森寿子編集、発行 2001 247㊦

不登校問題調査研究委員会報告書 アンケート調査を中心にして 岡山県不登校問題調査研究委員会 [編] 発行 2001 75, 38㊦

岡山県蚕糸業のあゆみ 岡山県蚕糸振興協議会 [編] 発行 2001 62㊦

新着外国語図書紹介

信頼

The cowboy and his elephant

(by Malcolm MacPherson / St. Martin's Press / 2001)

1988年、南アフリカのジンバブエの草原で平和に暮らしていたゾウの一家。しかし、一瞬にして、ハンターに射殺され、1匹の赤ちゃんゾウだけが難を逃れた。生き残ったメスゾウは、アメリカへと売られていった。このゾウは、アメリカで「マルポロ」の男としてテレビにも出演していたハンサムなカウボーイ、ボブ・ノリスと運命的な出会いをする。ボブは、ゾウをエイミーと名づけ、自分の牧場にひきとり育てていく。家族を殺した人間への不信感がトラウマとなっていたエイミーの心をボブが徐々に癒していき、エイミーはボブの片腕となって牧場で働くようになるのである。人間とゾウとの友情を綴った感動的な実話である。

外交

Does America need a foreign policy? : toward a diplomacy for the 21st century

(by Henry Kissinger / Simon & Schuster / 2001)

著者は、第56代アメリカ国務長官を務めたヘンリー・キッシンジャー氏。1973年には、ノーベル平和賞も受賞している。彼は、本書の中で21世紀における世界秩序の達成のためには、アメリカが新しい一貫した外交政策を打ち出すことが急務であると述べている。彼は、ロシア、中国、ヨーロッパ、中東や世界の他の地域とア

メリカとの現在そして将来の関係について触れ、グローバルゼーション・核兵器拡散・自由貿易・地球環境汚染についても憂慮しながら、迫り来る次の10年におけるアメリカの外交政策のビジョンを提唱している。

開国

Shipwrecked ! : the true adventures of a Japanese boy

(by Rhoda Blumberg / Harper Collins Publishers / 2001)

1800年代の日本、江戸幕府は鎖国令をしき、外国人や外国思想の流入を禁じていた。国外へ渡航し、帰国したものは死罪に処せられる時代であった。

1841年に嵐に遭い、4人の漁師とともに難破した14才(当時)の万次郎は、小さな島へ流れ着き、6カ月の漂流生活を送るが、アメリカの捕鯨船に救助され、ニュー・イングランドで教育を受けた。死を覚悟して9年後に帰国したが、彼はサムライの身分を与えられ、西洋人に日本国を開くという重要な役割を果たしたのである。彼は、アメリカを訪れた最初の日本人であり、彼が見聞きしたことは19世紀のアメリカの生活を生き生きと描写している。歴史にも忠実にジョン万次郎の数奇な生涯を描いた伝記である。



随想

ひいご



岡山県詩人協会理事 なんば みちこ

川のほとりを散策することなど久しくなかった。水の音が聞こえる。歌いながら行く水。石にぶつかって砕ける白い泡。浅瀬に入ると驚くほど冷たい。足にまとわりほどけて流れる水の子ども。八月下旬、久々に

訪れた蒜山でのことだ。

青年が石をひっくり返すと小さな生き物がたくさんいる。「これがいさご虫」と差し出すその掌には、砂粒と小石の粒を全身にまとった2センチほどの生きものが乗っている。「あっ、それは私が子供の頃にいっぱいいたよ」と、声をあげる。

あの頃は、季節で色が変わる虹色のタナゴやハエ、縞ドジョウ、触角をふるわせ続ける透き通った細身の小エビたち、脱皮したばかりの青いカニ、シジミ貝やカラス貝は小さな二つの穴から砂をふき出していたよ。この水だった。この空気だった。半世紀まえまでは、どこの自然も。

流れに沿って行くと橋の下に燕の巣がたくさんあるというのでしばらく進むと、コンクリートの橋げたに百個を超えようかと思われるお椀型の巣がアパートのようにびっしり並んでいる。子育ての終わった後の空っぽの巣だ。交通量もかなりある橋なのにわざわざここを選んだのは、餌の豊富な川がすぐ下を流れているからだろう。「とうひいごの巣はとっくり型だったよ」とつぶやくと、「えっ、とうひいごって？」と返ってきた。

子供のころはツバメのことを「ひいご」と呼んだ。「とう」の意味は分からないが「富とみ」が変じて「とう」になったのかも知れない。別名「分限ぶんげん

者しやひいご」とも呼んだから。とっくり型の巣が軒端に作られている家は分限者だったり、これから金持ちになるはずの家だと言われたりした。最近お目にかからなくなったが、この巣を作るのは腰あか燕で、色も姿も格別美しかった。

「ひいご」と言う言葉は辞書にあるのだろうか、帰ったら調べてみようなど思いながら澄んだ空気を存分に肺に吸い込み、まわりの美しい風景や水の姿を目に焼き付けた。

帰宅してさっそく「ひいご」を辞書で探した。百科事典にも国語辞典にもなかった。ただ、岩波の「広辞苑」に「ひいご魚 飛び魚」とあった。このことから想像すると、「ひいご」は「飛子」から来ているのかも知れない。「子」は愛称としてよく使われることもあり、あの飛び交う燕の姿は「飛子」にふさわしいなどと思う。

総社市には「ヒイゴ池」がある。漢字は「燕子池」と当てる。貴重な植物や昆虫が残る湿地帯として保全されているこの地域には、昔から燕がたくさん飛来していたのだろう。想像がはばたく。

その後、図書館で、『方言辞典』を調べた結果、「ヒイゴ」は岡山県全県から鳥取県、出雲、備後東部にかけての方言と分かった。「ヒゴ」とも言うそう。

親しい人達とゆっくり過ごした蒜山のひと時だったが、「心は、リラックスした時に動き始める」ということを実感させてくれた。その時、想像力もまた働き始めるのだ。

そして、生きものの住む豊かな自然をとりもたず必要や、方言を大切にしたいという思いが広がっていく。

*** イベント情報 ***

～ 第3回「世界お話の旅」カナダ編 ～

外国の本にふれながら、国際理解を深めませんか？ 絵本の読み聞かせや、歌やゲームを通して、カナダのことをもっと知りましょう。

・開催日時 / 平成13年11月24日(土) 14:00～15:30

・会場 / 岡山県総合文化センター第一会議室

(岡山市天神町)

・講師 / アニータ・チャイ氏(岡山市国際交流員)

・内容 / カナダの絵本の読み聞かせ・歌とゲーム

・対象 / 幼稚園児・小学生とその保護者

・問合せ先 / 岡山県総合文化センター 奉仕課 国際資料係

☎ 086 224 - 1286

・その他 / 入場無料。事前申し込み不要。ただし、駐車場には限りがありますので、公共の交通機関を利用してご来場ください。

*** 「現代作家の眼」 ***

アートウェーブ岡山・巡回展(矢掛)

県内で活躍中の美術家の作品を分野別に紹介していくシリーズの展覧会で、今回は「やわらかく・あるいは・かるく」をテーマにした立体作品を展示します。

石や金属などの重厚な“彫刻”のイメージとは異なり、紙や布などを素材にしたものや空間を取り込んだ作品などが会場を埋め尽くします。

会場 やかげ郷土美術館

会期 11月14日(水)～11月25日(日)月曜日は休館

時間 午前9時～午後5時(初日は午前10時開会)

入場 無料

問合せ先 岡山県総合文化センター 総務課 文化係

☎ 086 224 - 1286

なお、会期終了後、勝央町郷土美術館、高梁市歴史美術館にも巡回します。

ギャラリー

期間 (週)	第 1 展 示 室		第 2 展 示 室	
	大 室	小 室	大 室	小 室
11/27 12/2	岡山県厚生年金受給者協会 生きがい美術展 書画60点・写真・工芸60点 岡山県厚生年金受給者協会 入場無料	第30回 岡山市文化連盟連合展 油絵・水彩画・水墨画・書・他計240点 岡山市文化連盟連合会 入場無料	第25回 岡山県高等学校総合文化祭写真部門・第18回 県高写協写真展 写真200点 岡山県高等学校写真協議会 入場無料	
12/4 12/9	第8回 生徒作品・表現活動発表会 写真500点・絵画300点・書400点・社会100点・彫刻100点・デザイン500点 岡山市中学校芸術文化連盟 入場無料		第13回 日中友好書道展 書48点 岡山県日中友好書道協会 入場無料	新紀展 油絵30点 新紀会 入場無料
12/11 12/16	エイブルアート・フォーラム岡山 絵画・陶芸・織物・書等の展示とワークショップ エイブルアート・フォーラム岡山実行委員会 入場無料		第32回 莞歌社 岡山支部書道展 書90点 莞歌社岡山支部 入場無料	第13回 創彩展 油絵30点・水彩5点 創彩会 入場無料
12/18 12/23	第14回 国際架橋書展(巡回展) 書約300点 国際架橋書会 入場無料		西部謙慎書道展 書90点 西部謙慎書道会 入場無料	第7回 いきるかたち展 立体造形・彫塑・油絵・版画 計10点 いきるかたち展実行委員会 入場無料
12/25 1/6	年 末 年 始 休 館 日			
1/8 1/13	第34回 春秋会 書道展 書100点 春秋会 入場無料	グループ'90染色・水墨・日本画展 染色3点・水墨17点・日本画10点 グループ'90 入場無料	第32回 ギャルド・ファイブ展 油絵30点・インスタレーション1点 ギャルド・ファイブ 入場無料	
1/15 1/20	日洋会瀬戸内支部選抜展(第40回 記念黄土舎展) 油絵40点 日洋会瀬戸内支部 岡山 一般500円、学生300円、小・中学生・老・会員200円		第39回 県下高校書道教師による書道展 書40点 岡山県高等学校教育研究会 書道部会 入場無料	第7回 ニッコールクラブ 岡山支部展 写真80点 ニッコールクラブ岡山支部 入場無料
1/22 1/27	国画会岡山作家展 絵画24点・彫刻4点・工12点・版画4点 国画会 岡山グループ 入場無料	岡山水彩作家作品展 水彩画30点 岡山水彩作家会 入場無料	女子美展 絵画・工芸50点 女子美術大学同窓会 入場無料	彩雲書道会展 書100点 彩雲書道会 入場無料
1/29 2/3	第46回 岡山市教職員美術展 洋画・日本画・版画・写真・工芸 計135点 岡山市教職員美術展運営委員会 入場無料		第18回 岡山県工業高校デザイン展 デザイン(岡山工高デザイン科 高梁工高デザイン科・インテリア科 東岡山工高設備システム科)400点 岡山県高等学校工業教育協会 入場無料	

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です。
 会員.....文化センター友の会及び文化振興会会員
 団体の都合により、展覧会名称・入場料等が変更されることもあります。

ホール(固定席282席)

日 曜	催 物	時 間	料 金	主 催 者
12/1(土)	(第325回 文化センター土曜劇場) 岡山ろう者劇団『夢二』&びっくり ユニークシアター公演	14:00~ 18:00~	前(大人):1,200円 前(小人):500円	岡山県総合文化センター
12/2(日)	手話劇「はなし 昔の話」	13:00~	当(大人):1,500円 当(小人):700円	
12/3(日)	文化センターホール使用抽選会 (対象期間:H14.6月~8月)	9:00~		岡山県総合文化センター 総務課文化係
12/5(水)	宗論を観る会(狂言)	18:00~19:30	前:3,000円/当:3,500円	田賀屋狂言会
12/8(土)	中学校文化連盟生徒作品・表現活動発表会	12:30~	無 料	県中学校文化連盟
12/9(日)	(演劇、合唱、ダンス等)	12:30~		
12/22(土)	ライブ演奏	13:00~16:00	無 料	岡大軽音ロック
12/23(日)	ピアノ・エレクトーン発表会	未 定	無 料	森田由利子
12/25(火)	関西高校演劇部定期公演	未 定	300円	関西高校演劇部
1/13(日)	第23回 岡山人形劇フェスティバル	10:00~	大人:300円 小人:100円	第23回 岡山人形劇 フェスティバル実行委員会
1/20(日)	ピアノ発表会	13:30~15:30	無 料	塩塚瑞枝
1/27(日)	音楽教室 発表会ライブ	未 定	500円	(有)長谷川楽器店

ホールの、楽屋25・舞台96.40・客席196.98・固定席282席です。
 使用希望者は、3ヶ月ごとの抽選会に出席してください。
 抽選会は、6/1(12~2月)・9/3(3~5月)・12/3(6~8月)・3/1(9~11月)ですが、抽選済の期間で空きがあれば随時受付けています。
 使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の芸術文化関係の催しに限ります。
 会員.....文化センター友の会及び文化振興会会員
 上記の催し物は、10月末現在申し込み済みのものです。
 主催団体の都合で、中止・変更等の場合もありますので、事前に御確認願います。

催し物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。(<http://www.libnet.pref.okayama.jp>)